



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)宛。

なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

## 人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

### 京都大学大学院理学研究科 宇宙物理学教室 教員

1. 准教授1名
2. (1) 京都大学大学院理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻 宇宙物理学教室  
(2) 京都市
3. 宇宙物理学（理論）
4. 宇宙物理学の研究とそれを通しての大学院生、学部生の教育、当教室で推進中の岡山新技術望遠鏡計画に協力していただける方を希望します。京都大学において活気あふれる研究グループを立ち上げ、リーダーシップを発揮できる有能な人材を広く求めます。
5. (1) 決定後なるべく早い時期  
(2) なし
6. 天文学あるいは関連分野の博士の学位を有すること
7. (1) 履歴書、(2) 主要論文リスト（査読付き雑誌に掲載されたものとそうでないものを区別すること、また特に重要な論文5編までに印をつけること）、(3) 研究歴（A4判2ページ程度）、(4) 研究計画書（A4判2ページ程度）、(5) 意見を伺える方2名の氏名と連絡先（メールアドレス）
8. 2013年2月14日（木）午後5時必着
9. (1) 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学大学院理学研究科宇宙物理学教室  
教室主任 嶺重 慎  
Tel: 075-753-3901 Fax: 075-753-3897

(2) 提出先に同じ

10. 封筒に「人事応募書類在中」と朱書し、簡易書留で送付すること。応募書類は、お返ししません。
11. 書類選考の後、場合によっては面接を行うことがあります。京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待します。

### 新分野創成センターイメージングサイエンス研究分野 特任研究員

1. 特任研究員 1名
2. (1) 自然科学研究機構新分野創成センター イメージングサイエンス研究分野  
(2) 自然科学研究機構岡崎地区（愛知県岡崎市）
3. および4.

自然科学研究機構では、自然科学の新分野の創成を目指して、平成21年4月1日に新分野創成センターを設置いたしました。本センターは、機構内外の研究者コミュニティとの連携と協力により、新分野の創成に取り組んできました。今回、高度な研究能力をもつ若手研究者に、客員教員および特任助教と協力して一定期間研究に従事していただき、新分野創成に向けての研究推進と人材養成を図る目的で、下記のとおりイメージングサイエンス研究分野特任研究員を公募いたします。生命科学研究分野における画像取得や画像データ解析のための新たなソフトウェアの開発、定量的解析手法の確立などの積極的な展開を行っていただける方を対象とします。イメージングを用いて生命科学研究を推進している研究グループと積極的に共同研究を推進していただきます。（参照：<http://www.nins.jp/recruit/secretariat.php>）

・センターの目的：

センターの教授をスーパーバイザーとして、客員教員、特任助教および特任研究員を主な研究組織のメンバーとし、自然科学分野における各種画像データを取得し、その解析や数値モデル構築を通して生命現象および物理化学現象の本質的な意味を解明することを目的とする。

・研究・業務内容:

センターに所属する特任助教との協力のもとに、画像データ処理のためのソフトウェア開発およびグラフィックスによる生命現象解明のための研究に従事していただきます。また、本機構のイメージングに関わる研究者との共同研究を実施していただきます。従来の研究分野は問いません。

5. (1) および (2)

採用決定後できる限り早い時期から最長5年間(1年度ごとに更新)

(契約期間および契約の更新については大学共同利用機関法人自然科学研究機構年俸制職員就業規則による)

6. 博士の学位を有する者または平成25年3月31日までに博士の学位取得が見込まれる者

7. (2)~(5) については7部必要

(1) 履歴書: 写真貼付(履歴書の連絡先にE-mailアドレスを記入すること.)

(2) 研究歴: 任意の様式による。(2枚以内)

(3) 採用後の研究計画: 新分野創成センターの目的に沿った研究計画を本機構内の共同研究を視野に入れて記してください。任意の様式による。(3枚以内)

(4) 業績リスト: 和文と英文は別葉とすること。査読の有無を明記すること。共著の論文については、共著者名をすべて記入すること。開発したソフトウェアを提出していただいても構いません。(任意の様式による。)

(5) 論文別刷: 主要な論文(学位論文および投稿中又は投稿予定を含む。)コピー可。

(6) 推薦書, または, 応募者について参考意見を述べる人がある場合は, その氏名および連絡先を記載した文書: いずれも, 任意の様式による。

8. 平成25年2月28日(木)17時必着

9. (1) 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13

神谷町セントラルプレイス2階  
大学共同利用機関法人自然科学研究機構  
事務局総務課人事係

(2) ・研究内容等について

大学共同利用機関法人自然科学研究機構  
新分野創成センター事務担当  
e-mail: cnsi-jimu@nins.jp

・給与等について

大学共同利用機関法人自然科学研究機構  
事務局総務課人事係

Tel: 03-5425-2035 (直通)

10. 封筒の表に「新分野創成センターイメージングサイエンス研究分野特任研究員公募関係書類」と朱書きし、郵送の場合は簡易書留とすること。なお、提出された書類は、返却しませんのでご了承ください。

11. ・給与:

大学共同利用機関法人自然科学研究機構年俸制職員就業規則に基づき支給する。

・選考方法:

イメージングサイエンス研究分野特任教員等候補者選考委員会にて調査審議を行い、新分野創成センター運営委員会が決定する。選考は、書類審査により行い、必要に応じて、面接を行うこともある。

・その他:

・本人事においては、男女共同参画社会基本法の趣旨を尊重します。

・産前産後・育児・介護のための休暇・休業(育児部分休業, 介護部分休業を含む。)の取得, または業務上もしくは通勤途上による傷病に起因する病気休暇・病気休職により研究を行うことができなかった期間がある場合には, 履歴書等にその旨明記していただければ, 業績を評価する際に配慮します。

### 人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果(前所属)
3. 着任時期

### 大阪大学・大学院理学研究科・教授

1. 2012年2月(第105巻第2号)
2. 長峯健太郎(米国ネバダ州立大学ラスベガス校・准教授)
3. 2013年4月1日

### 研究助成

### (財)天文学振興財団 平成25年度研究助成等応募

当財団は、天文学の振興に寄与することを目的として、天文学に関連する分野の研究、教育および普及活

動への必要な経費を助成いたします。

平成25年1月20日

(財)天文学振興財団 理事長 観山正見

## 1. 応募種目

### (1) 国際交流に対する助成

- a. 対象：天文学に関する海外での国際交流活動（1カ月以内）に平成25年4月以降参加する研究者
- b. 助成：派遣に要する往復航空運賃及び滞在費の一部。平成23年度の助成件数は1件（約13万円）

### (2) 国際研究集会参加に対する助成

- a. 対象：平成25年4月以降に海外で開催される天文学に関する国際研究集会（10日以内）に参加、発表する研究者
- b. 助成：派遣に要する往復航空運賃。平成23年度の助成件数は10件（平均約5万円）

### (3) 国際研究集会開催に対する助成

- a. 対象：平成25年4月以降に国内で天文学に関する国際研究集会を開催する研究者グループ。
- b. 助成：1件100万円以下。平成23年度の助成件数は2件（平均約70万円）

2. 申込期限：(1)、(2)は毎年5月末日、9月末日、翌年1月末日の計3回 (3)は第1回が5月末日（対象期間が25年7月以降の開催）第2回が9月末日（対象期間が25年11月以降の開催）第3回が26年1月末日（対象期間が26年3月以降～26年6月末日迄の開催）

3. 選考結果：選考委員会で審査の上、採択の可否については、各申込期限の約1カ月後に文書で通知します。

4. 報告：研究助成は、年度末、それ以外の助成は、帰国後または開催後1カ月以内に報告書を提出して頂きます。

5. 申請書：ホームページ上にWordファイルとPDFファイルが掲載されています。

6. 問合せ先：(財)天文学振興財団 事務室  
〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台内  
Tel: 0422-34-8801  
Fax: 0422-34-4053  
<http://www.fpastron.jp/>

## 第44回（平成25年度）

### 三菱財団自然科学研究助成応募要領

## 1. 助成の趣旨

近年の自然科学の進歩はめざましく、各学問分野の研究の深化はもとより分野間の相互作用により、つぎつぎに新たな研究領域が誕生しつづつあります。このような状況のもとで本事業は、これらの科学・技術の基礎となる独創的かつ先駆的研究とともに、既成の分野にとらわれず、すぐれた着想で新しい領域を開拓する萌芽的研究に期待して助成を行います。

自然科学のすべての分野(注)にかかわる、すぐれて独創的な研究を助成の対象と致します。さらに複数の分野にまたがる新しい現象を模索する実験・理論や、環境問題の基礎的研究も対象と致します。

(注) 具体的な分野については、コード表をご覧ください。

## 2. 助成の概要

### 応募資格

- イ. 原則として、一つのテーマとして独立した個人研究（但し少数グループによる研究も含む）を対象と致します。完全公募制であり各研究者は自由に応募頂けますが、当該代表研究者が日本国内に居住し、国内に継続的な研究拠点を有する場合（国籍等是不問）に限られます。
- ロ. 営利企業等関係者は対象外となります。
- ハ. 代表研究者及び主たる協同研究者は、本財団の同一年度の助成に複数応募することはできません。

## 3. 応募期間

平成25年1月7日(月)～平成25年2月4日(月)  
(期間内に必着のこと)

## 4. 応募方法

「助成申込書」の作成

“申込書の内容・書式”は、本財団インターネットホームページ上にて、“助成概要”、“助成応募要領”等共々、12月上旬以降、平成25年度分を掲載致しますので、これをご参照下さい。

[ホームページアドレス]

<http://www.mitsubishi-zaidan.jp>

### 【申込書提出先】

公益財団法人 三菱財団事務局

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目3番1号  
(三菱商事ビル21階)

TeL: 東京 03-3214-5754

Fax: 東京 03-3215-7168

## 研究会・集案案内

### 「銀河学校 2013」参加者募集

東京大学大学院理学系研究科附属天文学教育研究センター木曾観測所では、高校生対象の天文学観測体験実習セミナー「銀河学校」を毎年開催しています。

「銀河学校」では、木曾観測所の口径105 cmの望遠鏡を用いて天体の観測を行い、得られたデータを解析することで天文研究を体験することができます。天文に関する基礎知識は必要ありません。天文が大好きな方はもちろん、天文が初めてという方も大歓迎いたします。宇宙や科学に興味を持つみなさんの参加をお待ちしております。

主催：東京大学木曾観測所

日時：2013年3月26日(火)～29日(金)

場所：長野県木曾郡木曾町三岳 10762-30  
東京大学木曾観測所

対象：高校生（新高校生を含む）

参加費用：7,000円（宿泊・食事代）、500円（傷害保険料）  
（JR木曾福島駅までの交通費は各自でご負担下さい）

応募方法：以下を明記したものを郵便又は、電子メールにてお送りください。

氏名、生年月日、性別、連絡先（住所、電話番号）、学校名、学年、作文（800字程度）

作文テーマ：「銀河学校参加の動機」

好きな天体、口径105 cmの望遠鏡で観測したい天体、研究してみたい宇宙の謎など、銀河学校に参加しようと思った動機についてまとめてください。

宛先：〒397-0101 長野県木曾郡木曾町三岳 10762-30  
東京大学木曾観測所

e-mail: ggakko@kiso.ioa.s.u-tokyo.ac.jp

応募締切：2013年2月18日(月) 必着

問合せ：TEL 0264-52-3360（東京大学木曾観測所）

・詳しくは銀河学校のホームページをご参照ください。  
(<http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/OUTREACH/GS/>)

・応募者多数の場合は作文による選考を行います。その際、天文に関する知識よりも、参加への意欲を評

価の基準とさせていただきます。

結果は3月初旬に応募者全員に通知致します。

\*銀河学校は「NPOサイエンスステーション」の協力を受けて開催されます。

## 会務案内

### 臨時総会開催通知

(注：この総会は既に終了していますが、全会員への周知のためにここに掲載するものです。)

日本天文学会正会員各位

爽秋の候、皆様におかれましては益々ご壮健のこととお慶び申し上げます。突然のことで誠に恐縮ですが、以下に示す経緯により緊急に臨時総会を開催する必要が出てきました。ご理解のほど宜しくお願いいたします。出席される方は、お送りした臨時総会資料をご持参ください。当日の資料配布は行いません。

理事長 岡村定矩

9月20日、大分大学で行われた日本天文学会総会で2013年度(15カ月)事業計画、予算案が採択されましたが、その後内閣府からの指摘があり、新法人発足の最初の事業年度は12カ月以内でなければ、公益法人移行認定が行えない、という見解が示されました。そこで改めて、事業計画と予算書を、2013年1月1日から3月31日の期間の会計年度(公益社団法人2012年度)と2013年4月1日から2014年3月31日の期間の会計年度(公益社団法人2013年度)に分離し立案しました。これらの変更に伴い各種細則と内規も変更する必要があります。

本総会では、公益社団法人2012年度の事業計画書案(1号議案)、予算書案(2号議案)、細則変更(6～9号議案)についてご承認をお願いいたします。前回の大分大学での総会でご説明しましたが、予算書案は、従来の形式とは異なり、新法人が従うべき新たな会計基準を反映した形式となっています。

また、最悪の事態として本会の事業年度内(12月31日まで)に公益法人認定がなされない可能性も出てきました。その場合には、来年1月から現行の特例社団法人\*として新年度の事業をともかく開始する必要があるため、特例社団法人(現行法人)2013年度(1年分)の事業計画書案(3号議案)と予算書案(4号議案)も合わせてご承認をお願いします。1年分と



なっていますが、これらは、新法人が発足する直前に、現法人が解散する時点で終了するものです。またこの機会に、新法人発足時の理事会及び委員会を改選する（10号議案）とともに、内閣府より指摘されていた定款の修正（5号議案）も行いますのでこのご承認もお願いします。定款と細則の修正箇所については、資料11と12にまとめておきました。なお、欠席される方は可能な限り議案書面表決状（同封のはがき）を提出していただければ幸いです。署名捺印の上、天文学会事務所まで郵送してください。海外在住者に限り、FAXまたはメール添付での提出も有効といたします。

送付先：FAXの場合：0422-31-5487

メール添付の場合：jimu@asj.or.jp

\*2008年12月に公益法人改革法案が成立した時点で、新法人に移行していない法人は「暫定的な形」と見なすようになり、このような名称で呼ばれることになった。

#### 社団法人 日本天文学会臨時総会

開催日 2012年11月26日(月)

受付時刻 16時30分～17時00分

開催時刻 17時00分～18時00分

場所 国立天文台三鷹キャンパス 大セミナー室

#### 議事次第

開会

出席者確認

議長選出

署名人選出（2名）

#### 報告

1. 臨時総会開催経緯について

2. その他

#### 議題

1号議案 公益社団法人日本天文学会2012年度事業計画書案の承認

2号議案 公益社団法人日本天文学会2012年度予算書案の承認

3号議案 特例社団法人日本天文学会2013年度事業計画書案の承認

4号議案 特例社団法人日本天文学会2013年度予算書案の承認

5号議案 公益社団法人日本天文学会定款の修正案の承認

6号議案 会費に関する細則の変更案の承認

7号議案 代議員選挙施行細則の変更案の承認

8号議案 会長・副会長・理事・監事選考細則の変更案の承認

9号議案 日本天文学会委員会等に関する細則の

変更案の承認

10号議案 新理事会の理事・監事の承認

#### 閉会

#### [1号議案]

公益社団法人 日本天文学会2012年度

(公益法人登記日～2013年3月31日)

#### 事業計画書(案)

1. 出版物の刊行（新定款第2章第5条2項に該当する事業）

1) 欧文研究報告

第65巻1号65, A4版, 発行部数各1,250, 年間250ページを予定する。

2) 天文月報

第106巻1号～第106巻3号, 月刊B5版, 発行部数各3,300, 毎号64ページを予定する。

3) 年会講演予稿集

春季年会の講演予稿集を計1冊, 発行部数850を予定する。

4) ジュニアセッション予稿集

春季年会時のジュニアセッション予稿集1冊, 発行部数1,000を予定する。

2. 年会の開催（新定款第2章第5条1項に該当する事業）

天文学分野に関する研究活動の発表の場である年会を春季1回開催する。

1) 春季年会：2013年3月20日(水)～23日(土), 埼玉大学(埼玉県さいたま市, 開催地理事: 田代信)で行われる。

ジュニアセッション, 天文教育フォーラム, 公開講演会も併せて開催する。

3. 代議員総会, 理事会, 会員全体集会, 監査（新定款第6～8章第36～57条に該当する事業）

1) 代議員総会

事業計画・予算案/事業報告・決算報告などの重要事項を議決する代議員総会を, 1月および春季年会中に計2回開催する。代議員総会は会員の投票による選挙で選任された35名の代議員(任期4年で半数の17～18名ずつ2年ごとに改選)から構成される。

2) 理事会

本会の活動に関する諸問題の報告・議決を行い, 事業遂行・方針決定など組織の中心的な役割を担う。1月および春季年会中に計2回開催する。理事会は, 15名の理事(会長, 副会長2名, 庶務理事2名, 会計理事2名, PASJ理事, 月報理事, 年会実行理事, 天文教育理事, 年会

開催地理事4名)から構成される, 監事も出席する。

3) 会員全体集会

本会のやっている事業, 会計などについての情報を会員に広く伝えるとともに, 会員相互の情報共有を図ることを目的とする会員全体総会を春季年會中に計1回開催する。

4) 監査

2名の監事(任期3年の第1年目に当たる)が1月に, 前年度の本会の財産状況と業務執行状況の報告(決算報告と事業報告)が適切かどうかの監査を行い, 代議員総会と3月の春季会員全体集会でその結果を報告する。

4. 各委員会等(「日本天文学会委員会等に関する細則」に準拠する)

本年度は16の委員会等を置き, 構成メンバーにより各種活動を行う。任期1年の第1年目に当たる。

1) 欧文研究報告編集顧問

2) 欧文研究報告編集委員会

3) 天文月報編集委員会

4) 年會実行委員会

5) 天文教育委員会

6) 選挙管理委員会

7) 林 忠四郎賞選考委員会(欧文研究報告論文賞の選考も兼ねる, 加えて会長がExOfficioとして参加)

8) 研究奨励賞選考委員会

9) 天体発見賞選考委員会(天文功労賞の選考も兼ねる)

10) 内地留学奨学金選考委員会

11) 早川幸男基金選考委員会

12) ネットワーク委員会

13) 天文教材委員会

14) ジュニアセッション実行委員会

15) 男女共同参画委員会

16) 衛星設計コンテスト推進委員会

5. 日本天文学会各賞の授与(新定款第2章第5条7項に該当する事業)

1) 天体発見賞・天体発見功労賞

新星, 超新星, 彗星など新天体の発見者に対して

して天体発見賞・天体発見功労賞を授与する。

2) 日本天文学会研究奨励賞

特に顕著な研究成果を挙げた35歳以下の若手研究者(3名以内)に, 研究奨励賞を授与する。

3) 日本天文学会 林 忠四郎賞

天文学の分野において, 独創的にかつ分野に寄与するところの大きい研究者に対して林 忠四郎賞を授与する(1件)。

4) 日本天文学会欧文研究報告論文賞

日本天文学会欧文研究報告に掲載された論文の中から, 特に優れた論文の著者に対して欧文研究報告論文賞を授与する(2編以内)。

5) 日本天文学会天文功労賞

天体観測活動等によって, 天文学の進歩及び普及への顕著な寄与をした者に対して授与する(長期的業績1名, 短期的業績若干名)。

6. 助成制度(新定款第2章第5条5, 7, 9項に該当する事業)

1) 早川幸男基金により, 申請受付を行い, 若手天文研究者の海外に於ける観測, 国際共同研究, あるいは研究発表のための渡航費または滞在費の援助を行う。

2) 賛助会員会費を用いて(学術交流費), 大学院生等の年會発表者の旅費補助をする。

7. 後援事業等(新定款第2章第5条8項に該当する事業)

他の学術団体などの天文関係諸企画に対して, 後援・協賛などを行う。

8. 各賞への候補者の推薦(新定款第2章第5条7項に該当する事業)

天文学会各賞以外の民間財団などからの, 研究助成および天文学に関連した賞の推薦に依頼に対して候補者を推薦する。

9. 事務所活動(新定款第1章第2条に該当する活動)

日本天文学会事務所(東京都三鷹市大沢, 国立天文台内)において, 事務長を含む常勤職員2名と約十名の非常勤職員が, 本会の事業に関する実務的な業務(会員管理業務, 天文月報・欧文報告の編集作業, 年會の準備運営事務など)を行う。

## 〔2号議案〕 公益社団法人 日本天文学会 2012年度予算案

## 正味財産増減予算書(案)

公益法人登記日から2013年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	合 計
	一般事業	助成事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
[基本財産運用益]	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0
[特定資産運用益]	10	1,406	0	1,416
退職給与引当預金受取利息	0	0	0	0
減価償却引当預金受取利息	10	0	0	10
内地留学奨学金積立資産受取利息	0	200	0	200
研究奨励賞積立資産受取利息	0	0	0	0
早川幸男基金積立資産受取利息	0	1,139	0	1,139
林忠四郎賞積立資産受取利息	0	67	0	67
[受取会費]	4,911,125	0	4,911,125	9,822,250
正会員受取会費	3,118,500	0	3,118,500	6,237,000
学生会員受取会費	586,625	0	586,625	1,173,250
準会員受取会費	1,206,000	0	1,206,000	2,412,000
団体会員受取会費	0	0	0	0
賛助会員受取会費	0	0	0	0
[事業収益]	8,744,850	0	0	8,744,850
購読料収益	1,606,100	0	0	1,606,100
掲載料収益	1,690,500	0	0	1,690,500
別刷代収益	271,250	0	0	271,250
論文アクセス制限解除収益	378,000	0	0	378,000
広告料収益	540,000	0	0	540,000
予稿集頒布収益	788,000	0	0	788,000
年会登録料収益	3,250,000	0	0	3,250,000
雑収益	125,000	0	0	125,000
印税収益	46,000	0	0	46,000
普及物品頒布収益	50,000	0	0	50,000
[受取補助金等]	0	0	0	0
受取国庫補助金振替額	0	0	0	0
刊行物受取補助金振替額	0	0	0	0
[受取寄付金]	20,000	1,560,000	0	1,580,000
受取寄付金	20,000	0	0	20,000
受取寄付金振替額	0	1,560,000	0	1,560,000
[雑収益]	500	200	30,000	30,700
受取利息	500	200	5,000	5,700
雑収益	0	0	25,000	25,000
経常収益計	13,676,485	1,561,606	4,941,125	20,179,216

科 目	公益目的事業会計		法人会計	合 計
	一般事業	助成事業		
(2) 経常費用				
[事業費]	<b>17,921,137</b>	<b>2,290,900</b>	<b>0</b>	<b>20,212,037</b>
給料手当	2,502,500	0	0	2,502,500
アルバイト諸経費	950,000	0	0	950,000
退職給付費用	0	0	0	0
法定福利費	126,500	0	0	126,500
旅費交通費	550,000	34,000	0	584,000
通信運搬費	1,403,400	0	0	1,403,400
減価償却費	15,000	0	0	15,000
消耗什器備品費	60,000	0	0	60,000
消耗品費	454,000	0	0	454,000
直接印刷費	4,725,450	0	0	4,725,450
別刷印刷費	120,287	0	0	120,287
予稿集印刷費	1,150,000	0	0	1,150,000
光熱水料費	37,500	0	0	37,500
賃借料（家賃・その他）	275,000	0	0	275,000
保険料	1,500	0	0	1,500
謝金	1,258,500	0	0	1,258,500
租税公課	250,000	0	0	250,000
年会会場費	1,170,000	0	0	1,170,000
保育室運営経費	250,000	0	0	250,000
ジュニアセッション経費	590,000	0	0	590,000
天体発見賞等経費	600,000	0	0	600,000
公開講演会経費	800,000	0	0	800,000
普及物品制作費	17,500	0	0	17,500
衛星設計コンテスト経費	0	0	0	0
天文教育フォーラム経費	160,000	0	0	160,000
講師派遣プロジェクト経費	80,000	0	0	80,000
広報活動経費	100,000	0	0	100,000
男女共同参画事業経費	0	0	0	0
学術交流費経費	0	732,500	0	732,500
内地留学奨学金経費	0	0	0	0
研究奨励賞経費	0	550,000	0	550,000
早川幸男基金経費	0	600,000	0	600,000
林忠四郎賞経費	0	350,000	0	350,000
雑費	274,000	24,400	0	298,400
[管理費]	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3,465,250</b>	<b>3,465,250</b>
給料手当	0	0	800,000	800,000
退職給付費用	0	0	0	0
法定福利費	0	0	126,500	126,500
会議費	0	0	62,500	62,500
福利厚生費	0	0	4,000	4,000
旅費交通費	0	0	200,000	200,000
通信運搬費	0	0	72,000	72,000
減価償却費	0	0	10,000	10,000



科 目	公益目的事業会計		法人会計	合 計
	一般事業	助成事業		
消耗什器備品費	0	0	40,000	40,000
消耗品費	0	0	70,000	70,000
修繕費	0	0	6,000	6,000
印刷製本費	0	0	1,300,000	1,300,000
書籍購入費	0	0	1,250	1,250
光熱水料費	0	0	37,500	37,500
賃借料（家賃・その他）	0	0	275,000	275,000
保険料	0	0	0	0
謝金	0	0	50,000	50,000
租税公課	0	0	250,000	250,000
支払負担金	0	0	3,000	3,000
諸手数料	0	0	107,500	107,500
徴収不能額	0	0	0	0
雑費	0	0	50,000	50,000
<b>経常費用計</b>	<b>17,921,137</b>	<b>2,290,900</b>	<b>3,465,250</b>	<b>23,677,287</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 4,244,652</b>	<b>△ 729,294</b>	<b>1,475,875</b>	<b>△ 3,498,071</b>
<b>一般正味財産期首残高</b>	<b>26,024,672</b>	<b>4,153,689</b>	<b>14,621,069</b>	<b>44,799,430</b>
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>21,780,020</b>	<b>3,424,395</b>	<b>16,096,944</b>	<b>41,301,359</b>
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
[受取国庫補助金]	0	0	0	0
[受取寄付金]	0	0	0	0
[一般正味財産への振替]	0	△ 1,560,000	0	△ 1,560,000
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>△ 1,560,000</b>	<b>0</b>	<b>△ 1,560,000</b>
<b>指定正味財産期首残高</b>	<b>0</b>	<b>67,610,988</b>	<b>0</b>	<b>67,610,988</b>
<b>指定正味財産期末残高</b>	<b>0</b>	<b>66,050,988</b>	<b>0</b>	<b>66,050,988</b>
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>21,780,020</b>	<b>69,475,383</b>	<b>16,096,944</b>	<b>107,352,347</b>

団体会員会費は2013年1-3月は、徴収しないものと変更した為、92,500円減額

事業別予算書内訳表(案)

公益法人登記日から2013年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業											法人会計	合 計
	一般事業					助成事業					公益目的		
	欧文事業	月報事業	年会事業	その他	共通	学術交流	内地留学	研究奨励賞	早川基金	林賞			
一般正味財産 経常収益計	3,650,850	835,000	4,163,000	96,000	4,931,635	200	200	570,000	601,139	390,067	15,238,091	4,941,125	20,179,216
一般正味財産 経常費用計	4,872,637	3,924,000	4,598,500	2,347,500	2,178,500	734,000	400	567,500	600,000	389,000	20,212,037	3,465,250	23,677,287
一般正味財産 当期経常増減額	△ 1,221,787	△ 3,089,000	△ 435,500	△ 2,251,500	2,753,135	△ 733,800	△ 200	2,500	1,139	1,067	△ 4,973,946	1,475,875	△ 3,498,071
指定正味財産 経常収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産 経常費用計	0	0	0	0	0	0	0	△ 570,000	△ 600,000	△ 390,000	△ 1,560,000	0	△ 1,560,000
指定正味財産 当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	△ 570,000	△ 600,000	△ 390,000	△ 1,560,000	0	△ 1,560,000

## 〔3号議案〕

特例社団法人 日本天文学会 2013年度  
事業計画書(案)

(2013年1月1日～2013年12月31日)

## 1. 出版物の刊行(定款第2章第5条2,3項に該当する事業)

## 1) 欧文研究報告

第65巻1号～第65巻6号,増刊1号,A4版,発行部数各1,250,年間1,700ページを予定する。

## 2) 天文月報

第106巻1号～第106巻12号,月刊B5版,発行部数各3,300,毎号64ページを予定する。

## 3) 年会講演予稿集

春・秋季年会の講演予稿集を計2冊,発行部数各850を予定する。

## 4) ジュニアセッション予稿集

春季年会時のジュニアセッション予稿集1冊,発行部数1,000を予定する。

## 2. 年会の開催(新定款第2章第5条1項に該当する事業)

天文学分野に関する研究活動の発表の場である年会を春季1回と秋季1回開催する。

## 1) 春季年会:2013年3月20日(水)～23日(土),埼玉大学(埼玉県さいたま市,開催地理事:田代 信)で行われる。

ジュニアセッション,天文教育フォーラム,公開講演会も併せて開催する。

## 2) 秋季年会:2013年9月10日(火)～12日(木),東北大学(宮城県仙台市,開催地理事:山田亨)で行われる。ジュニアセッション(ポスターのみ),天文教育フォーラム,公開講演会も併せて開催する。

## 3. 総会,理事会,評議員会,監査(定款第6章第29-43条に該当する事業)

## 1) 総会

正会員で組織され,事業計画・予算案/事業報告・決算報告などの重要事項を議決する通常総会を,春・秋季年会中に開催する。

## 2) 理事会

15名の理事(理事長,副理事長2名,庶務理事2名,会計理事2名,PASJ理事,月報理事,年会実行理事,天文教育理事,年会開催地理事4名:各理事は任期2年の第1年目に当たる)から構成される理事会は,本会の活動に関する諸問題の報告・議決が行われ,事業遂行・方針決定など組織の中心的な役割を担う。1月,6

月および春・秋季年会中に計四回の開催を予定する。

## 3) 評議員会

20名の評議員(任期4年で半数の10名ずつ2年ごとに改選)から構成される評議員会は,会員の投票による選挙で選任された評議員により,広い視野を持つ有識者としての会員の立場から,本会の事業活動についての自由な議論が行われ,各種の報告,勧告,議決が行われる。1月,6月および春・秋季年会中に計四回の開催を予定する。

## 4) 監査

2名の監事(任期2年の第1年目に当たる)が,年度初めの1月に,前年度の本会の財産状況と業務執行状況の報告(決算報告と事業報告)が適切かどうかの監査を行い,3月の春季通常総会でその結果を報告する。

## 4. 各委員会等(「日本天文学会委員会等に関する共通内規」に準拠する)

本年度は16の委員会等を置き,構成メンバーにより各種活動を行う。任期2年の第1年目に当たる。

## 1) 欧文研究報告編集顧問

## 2) 欧文研究報告編集委員会

## 3) 天文月報編集委員会

## 4) 年会実行委員会

## 5) 天文教育委員会

## 6) 選挙管理委員会

## 7) 林忠四郎賞選考委員会(欧文研究報告論文賞の選考も兼ねる,加えて理事長がExOfficioとして参加)

## 8) 研究奨励賞選考委員会

## 9) 天体発見賞選考委員会(天文功労賞の選考も兼ねる)

## 10) 内地留学奨学金選考委員会

## 11) 早川幸男基金選考委員会

## 12) ネットワーク委員会

## 13) 天文教材委員会

## 14) ジュニアセッション実行委員会

## 15) 男女共同参画委員会

## 16) 衛星設計コンテスト推進委員会

## 5. 日本天文学会各賞の授与(定款第2章第5条5項に該当する事業)

## 1) 天体発見賞・天体発見功労賞

新星,超新星,彗星など新天体の発見者に対して天体発見賞・天体発見功労賞を授与する。

- 2) 日本天文学会研究奨励賞  
特に顕著な研究成果を挙げた35歳以下の若手研究者（3名以内）に、研究奨励賞を授与する。
- 3) 日本天文学会 林 忠四郎賞  
天文学の分野において、独創的にかつ分野に寄与するところの大きい研究者に対して林 忠四郎賞を授与する（1件）。
- 4) 日本天文学会欧文研究報告論文賞  
日本天文学会欧文研究報告に掲載された論文の中から、特に優れた論文の著者に対して欧文研究報告論文賞を授与する（2編以内）。
- 5) 日本天文学会天文功労賞  
天体観測活動等によって、天文学の進歩及び普及への顕著な寄与をした者に対して授与する（長期的業績1名，短期的業績若干名）。
6. 助成制度（定款第2章第5条5, 7項に該当する事業）
  - 1) 内地留学奨学金により、主にアマチュア天文研究者が日本国内の研究機関で短期間の研究をおこなうための経費を補助する。2012年度内に選考し若干名に奨学金を支給する。
  - 2) 早川幸男基金により、年4回の申請受付を行い、若手天文研究者の海外に於ける観測、国際共同研究、あるいは研究発表のための渡航費または滞在費の援助を行う。
  - 3) 賛助会員会費を用いて（学術交流費）、大学院生等の年会（春秋）発表者の旅費補助をする。
7. 後援事業等（定款第2章第5条6項に該当する事業）  
他の学術団体などの天文関係諸企画に対して、後援・協賛などを行う。
8. 各賞への候補者の推薦（定款第2章第5条5項に該当の事業）  
天文学会各賞以外の民間財団などからの、研究助成および天文学に関連した賞の推薦に依頼に対して候補者を推薦する。
9. 全国同時七夕講演会の開催（定款第2章第5条8項に該当する事業）  
全国同時七夕講演会の開催（6年目）を開催する。
10. 衛星設計コンテスト（定款第2章第5条8項に該当する事業）  
（財）日本宇宙フォーラム等と共催して実行する衛星設計コンテストを推進するための活動を行う。
11. 事務所活動（定款第2章第5条8項に該当する事業）  
日本天文学会事務所（東京都三鷹市大沢，国立天文台内）において、事務長を含む常勤職員2名と約十名の非常勤職員が、本会の事業に関する実務的な業務（会員管理業務，天文月報・欧文報告の編集作業，年会の準備運営事務など）を行う。

\*但し、この事業計画書は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日が2013年1月1日以前に完了しなかった場合に有効となる。

## 〔4号議案〕 特例社団法人 日本天文学会 2013年度予算案

## 収支予算書(案)

2013年1月1日から2013年12月31日まで

《一般会計》

(単位: 円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
[基本財産運用収入]	<b>50,000</b>	<b>50,000</b>	<b>0</b>	
基本財産利息収入	50,000	50,000	0	
[特定資産運用収入]	<b>25,000</b>	<b>25,000</b>	<b>0</b>	
退職給付引当預金利息収入	1,000	1,000	0	
減価償却引当預金利息収入	24,000	24,000	0	
[会費収入]	<b>39,659,000</b>	<b>39,659,000</b>	<b>0</b>	
正会員会費収入	24,948,000	24,948,000	0	
学生会員会費収入	4,693,000	4,693,000	0	
準会員会費収入	9,648,000	9,648,000	0	
団体会員会費収入	370,000	370,000	0	
[事業収入]	<b>32,993,300</b>	<b>28,856,000</b>	<b>4,137,300</b>	
・欧文事業収入	<b>20,943,300</b>	<b>16,650,000</b>	<b>4,293,300</b>	
購読料収入	5,804,400	3,559,500	2,244,900	
掲載料収入	11,600,400	10,143,000	1,457,400	
別刷代収入	892,500	787,500	105,000	
論文アクセス制限解除収入	2,646,000	2,160,000	486,000	
・天文月報事業収入	<b>3,340,000</b>	<b>3,450,000</b>	<b>△ 110,000</b>	
購読料収入	620,000	600,000	20,000	
別刷代収入	560,000	750,000	△ 190,000	
広告料収入	2,160,000	2,100,000	60,000	
・年会事業収入	<b>8,326,000</b>	<b>8,326,000</b>	<b>0</b>	
予稿集収入	1,576,000	1,576,000	0	
登録料収入	6,500,000	6,500,000	0	
年会雑収入	250,000	250,000	0	
・印税収入	<b>184,000</b>	<b>230,000</b>	<b>△ 46,000</b>	
星座早見印税収入	184,000	200,000	△ 16,000	
その他の印税収入	0	30,000	△ 30,000	
・その他の事業収入	<b>200,000</b>	<b>200,000</b>	<b>0</b>	
普及物品頒布収入	200,000	200,000	0	
[補助金収入]	<b>7,000,000</b>	<b>8,700,000</b>	<b>△ 1,700,000</b>	
・国庫補助金収入	<b>7,000,000</b>	<b>8,300,000</b>	<b>△ 1,300,000</b>	
刊行物補助金	7,000,000	7,300,000	△ 300,000	
公開講演会補助	0	1,000,000	△ 1,000,000	
・地方公共団体補助金収入	<b>0</b>	<b>400,000</b>	<b>△ 400,000</b>	
年会補助金(春・秋)	0	400,000	△ 400,000	
[寄付金収入]	<b>80,000</b>	<b>80,000</b>	<b>0</b>	
寄付金収入	80,000	80,000	0	
[雑収入]	<b>122,000</b>	<b>470,000</b>	<b>△ 348,000</b>	
受取利息収入	22,000	20,000	2,000	
その他の収入	100,000	100,000	0	
事務手数料収入	0	350,000	△ 350,000	
<b>事業活動収入計</b>	<b>79,929,300</b>	<b>77,840,000</b>	<b>2,089,300</b>	



科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
2. 事業活動支出				
[事業費支出]	<b>61,310,125</b>	<b>59,581,225</b>	<b>1,728,900</b>	
・ 欧文事業費支出	<b>31,071,625</b>	<b>29,271,225</b>	<b>1,800,400</b>	
直接印刷費支出	17,491,950	16,229,850	1,262,100	
別刷印刷費支出	133,875	118,125	15,750	
人件費支出	6,100,000	6,100,000	0	
謝金支出	5,429,800	4,787,250	642,550	
送料運搬費支出	1,380,000	1,500,000	△ 120,000	
消耗品費支出	160,000	160,000	0	
雑支出	376,000	376,000	0	
・ 天文月報事業費支出	<b>15,996,000</b>	<b>15,700,000</b>	<b>296,000</b>	
直接出版費支出	8,700,000	8,700,000	0	
別刷印刷費支出	402,400	500,000	△ 97,600	
人件費支出	1,500,000	1,300,000	200,000	
謝金支出	1,640,000	1,500,000	140,000	
送料運搬費支出	3,169,600	3,000,000	169,600	
消耗品費支出	504,000	600,000	△ 96,000	
雑支出	80,000	100,000	△ 20,000	
・ 年会事業費支出	<b>10,364,000</b>	<b>9,725,000</b>	<b>639,000</b>	
予稿集印刷費支出	2,300,000	2,300,000	0	
謝金（アルバイト諸経費）支出	1,800,000	1,750,000	50,000	
送料運搬費支出	567,000	500,000	67,000	
会場費支出	3,030,000	2,375,000	655,000	
消耗品費支出	367,000	300,000	67,000	
人件費支出	1,300,000	1,300,000	0	
雑支出	200,000	200,000	0	
旅費交通費支出	300,000	500,000	△ 200,000	
保育室運営経費支出	500,000	500,000	0	
・ その他の事業費支出	<b>3,878,500</b>	<b>4,885,000</b>	<b>△ 1,006,500</b>	
天体発見賞経費支出	600,000	900,000	△ 300,000	
公開講演会経費支出	1,486,000	1,855,000	△ 369,000	
普及物品制作費支出	52,500	70,000	△ 17,500	
衛星設計コンテスト経費支出	60,000	60,000	0	
ジュニアセッション経費支出	590,000	630,000	△ 40,000	
天文教育フォーラム経費支出	320,000	370,000	△ 50,000	
講師派遣プロジェクト経費支出	320,000	150,000	170,000	
広報活動経費支出	400,000	850,000	△ 450,000	
男女共同参画事業経費支出	50,000	0	50,000	
[管理費支出]	<b>20,932,120</b>	<b>19,345,000</b>	<b>1,587,120</b>	
給与手当支出	9,025,000	8,500,000	525,000	
諸手数料支出	430,000	430,000	0	
退職給付支出	499,620	0	499,620	
法定福利費支出	1,434,500	1,350,000	84,500	
会議費支出	250,000	250,000	0	
福利厚生費	16,000	0	16,000	
旅費交通費支出	2,000,000	1,250,000	750,000	
送料通信費支出	720,000	900,000	△ 180,000	
消耗什器備品費支出	400,000	400,000	0	
消耗品費支出	700,000	700,000	0	
修繕費支出	24,000	30,000	△ 6,000	
印刷製本費支出	1,500,000	1,500,000	0	
書籍購入費支出	7,500	5,000	2,500	
光熱水料費支出	300,000	300,000	0	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
賃借料支出	2,200,000	2,200,000	0	
保険料支出	13,500	15,000	△ 1,500	
謝金支出	400,000	500,000	△ 100,000	
租税公課支出	500,000	500,000	0	
負担金支出	12,000	15,000	△ 3,000	
徴収不能額支出	100,000	100,000	0	
雑支出	400,000	400,000	0	
<b>事業活動支出計</b>	<b>82,242,245</b>	<b>78,926,225</b>	<b>3,316,020</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>△ 2,312,945</b>	<b>△ 1,086,225</b>	<b>△ 1,226,720</b>	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
<b>投資活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	523,620	453,200	70,420	
退職給付引当預金取得支出	499,620	429,200	70,420	
減価償却引当預金取得支出	24,000	24,000	0	
<b>投資活動支出計</b>	<b>523,620</b>	<b>453,200</b>	<b>70,420</b>	
<b>投資活動収支差額</b>	<b>△ 523,620</b>	<b>△ 453,200</b>	<b>△ 70,420</b>	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
<b>財務活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
2. 財務活動支出				
<b>財務活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>財務活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
IV 予備費支出	100,000	100,000	0	
<b>当期収支差額</b>	<b>△ 2,936,565</b>	<b>△ 1,639,425</b>	<b>△ 1,297,140</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>15,111,552</b>	<b>16,750,977</b>	<b>△ 1,639,425</b>	
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>12,174,987</b>	<b>15,111,552</b>	<b>△ 2,936,565</b>	

\* 当会の予算案は、前年度の決算前に立案されている。予算案の前期繰越収支差額は、前々年度の決算額に前年度予算の当期収支差額を加えたものとする。

## 《学術交流費会計》

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
<b>会費収入</b>	<b>1,470,000</b>	<b>1,470,000</b>	<b>0</b>	
賛助会員会費収入	1,470,000	1,470,000	0	
<b>雑収入</b>	<b>800</b>	<b>1,000</b>	<b>△ 200</b>	
受取利息収入	800	1,000	△ 200	
<b>事業活動収入計</b>	<b>1,470,800</b>	<b>1,471,000</b>	<b>△ 200</b>	
2. 事業活動支出				
<b>事業費支出</b>	<b>1,465,000</b>	<b>1,465,000</b>	<b>0</b>	
学術交流費支出	1,465,000	1,465,000	0	
<b>管理費支出</b>	<b>6,000</b>	<b>6,000</b>	<b>0</b>	
雑支出	6,000	6,000	0	
<b>事業活動支出計</b>	<b>1,471,000</b>	<b>1,471,000</b>	<b>0</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>△ 200</b>	<b>0</b>	<b>△ 200</b>	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
<b>投資活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
2. 投資活動支出				
<b>投資活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>投資活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
<b>財務活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
2. 財務活動支出				
<b>財務活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>財務活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期収支差額</b>	<b>△ 200</b>	<b>0</b>	<b>△ 200</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>3,770,630</b>	<b>3,770,630</b>	<b>0</b>	
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>3,770,430</b>	<b>3,770,630</b>	<b>△ 200</b>	

\* 当会の予算案は、前年度の決算前に立案されている。予算案の前期繰越収支差額は、前々年度の決算額に前年度予算の当期収支差額を加えたものとする。

## 《内地留学奨学金基金会計》

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
<b>特定資産運用収入</b>	<b>500</b>	<b>10,000</b>	<b>△ 9,500</b>	
内地留学奨学金積立資産利息収入	500	10,000	△ 9,500	
<b>事業活動収入計</b>	<b>500</b>	<b>10,000</b>	<b>△ 9,500</b>	
2. 事業活動支出				
<b>事業費支出</b>	<b>250,000</b>	<b>250,000</b>	<b>0</b>	
内地留学奨学金支出	250,000	250,000	0	
<b>管理費支出</b>	<b>2,000</b>	<b>2,000</b>	<b>0</b>	
雑支出	2,000	2,000	0	
<b>事業活動支出計</b>	<b>252,000</b>	<b>252,000</b>	<b>0</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>△ 251,500</b>	<b>△ 242,000</b>	<b>△ 9,500</b>	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
<b>特定預金取崩収入</b>	<b>251,500</b>	<b>242,000</b>	<b>9,500</b>	
内地留学奨学金積立資産取崩収入	251,500	242,000	9,500	
<b>投資活動収入計</b>	<b>251,500</b>	<b>242,000</b>	<b>9,500</b>	
2. 投資活動支出				
<b>投資活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>投資活動収支差額</b>	<b>251,500</b>	<b>242,000</b>	<b>9,500</b>	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
<b>財務活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
2. 財務活動支出				
<b>財務活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>財務活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

\* 当会の予算案は、前年度の決算前に立案されている。予算案の前期繰越収支差額は、前々年度の決算額に前年度予算の当期収支差額を加えたものとする。

## 《研究奨励賞基金会計》

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
<b>特定資産運用収入</b>	<b>3,000</b>	<b>1,000</b>	<b>2,000</b>	
研究奨励賞積立資産利息収入	3,000	1,000	2,000	
<b>事業活動収入計</b>	<b>3,000</b>	<b>1,000</b>	<b>2,000</b>	
2. 事業活動支出				
<b>事業費支出</b>	<b>300,000</b>	<b>300,000</b>	<b>0</b>	
研究奨励賞支出	300,000	300,000	0	
<b>管理費支出</b>	<b>80,000</b>	<b>80,000</b>	<b>0</b>	
旅費交通費支出	50,000	50,000	0	
雑支出	30,000	30,000	0	
<b>事業活動支出計</b>	<b>380,000</b>	<b>380,000</b>	<b>0</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>△ 377,000</b>	<b>△ 379,000</b>	<b>2,000</b>	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
<b>特定預金取崩収入</b>	<b>377,000</b>	<b>379,000</b>	<b>△ 2,000</b>	
研究奨励賞積立資産取崩収入	377,000	379,000	△ 2,000	
<b>投資活動収入計</b>	<b>377,000</b>	<b>379,000</b>	<b>△ 2,000</b>	
2. 投資活動支出				
<b>投資活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>投資活動収支差額</b>	<b>377,000</b>	<b>379,000</b>	<b>△ 2,000</b>	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
<b>財務活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
2. 財務活動支出				
<b>財務活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>財務活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

\* 当会の予算案は、前年度の決算前に立案されている。予算案の前期繰越収支差額は、前々年度の決算額に前年度予算の当期収支差額を加えたものとする。



《早川幸男基金会計》

(単位: 円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
<b>特定資産運用収入</b>	<b>177,000</b>	<b>105,000</b>	<b>72,000</b>	
早川幸男基金積立資産利息収入	177,000	105,000	72,000	
<b>寄付金収入</b>	<b>1,000,000</b>	<b>1,000,000</b>	<b>0</b>	
寄付金収入	1,000,000	1,000,000	0	
<b>事業活動収入計</b>	<b>1,177,000</b>	<b>1,105,000</b>	<b>72,000</b>	
2. 事業活動支出				
<b>事業費支出</b>	<b>2,700,000</b>	<b>2,700,000</b>	<b>0</b>	
早川幸男基金支出	2,700,000	2,700,000	0	
<b>管理費支出</b>	<b>10,000</b>	<b>10,000</b>	<b>0</b>	
雑支出	10,000	10,000	0	
<b>事業活動支出計</b>	<b>2,710,000</b>	<b>2,710,000</b>	<b>0</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>△ 1,533,000</b>	<b>△ 1,605,000</b>	<b>72,000</b>	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
<b>特定預金取崩収入</b>	<b>1,533,000</b>	<b>1,605,000</b>	<b>△ 72,000</b>	
早川幸男基金積立資産取崩収入	1,533,000	1,605,000	△ 72,000	
<b>投資活動収入計</b>	<b>1,533,000</b>	<b>1,605,000</b>	<b>△ 72,000</b>	
2. 投資活動支出				
<b>投資活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>投資活動収支差額</b>	<b>1,533,000</b>	<b>1,605,000</b>	<b>△ 72,000</b>	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
<b>財務活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
2. 財務活動支出				
<b>財務活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>財務活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

\* 当会の予算案は、前年度の決算前に立案されている。予算案の前期繰越収支差額は、前々年度の決算額に前年度予算の当期収支差額を加えたものとする。

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
<b>特定資産運用収入</b>	<b>3,000</b>	<b>20,000</b>	<b>△ 17,000</b>	
林忠四郎賞積立資産利息収入	3,000	20,000	△ 17,000	
<b>事業活動収入計</b>	<b>3,000</b>	<b>20,000</b>	<b>△ 17,000</b>	
2. 事業活動支出				
<b>事業費支出</b>	<b>300,000</b>	<b>300,000</b>	<b>0</b>	
林忠四郎賞支出	300,000	300,000	0	
<b>管理費支出</b>	<b>120,000</b>	<b>120,000</b>	<b>0</b>	
旅費交通費支出	60,000	60,000	0	
雑支出	60,000	60,000	0	
<b>事業活動支出計</b>	<b>420,000</b>	<b>420,000</b>	<b>0</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>△ 417,000</b>	<b>△ 400,000</b>	<b>△ 17,000</b>	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
<b>特定預金取崩収入</b>	<b>417,000</b>	<b>400,000</b>	<b>17,000</b>	
林忠四郎賞積立資産取崩収入	417,000	400,000	17,000	
<b>投資活動収入計</b>	<b>417,000</b>	<b>400,000</b>	<b>17,000</b>	
2. 投資活動支出				
<b>投資活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>投資活動収支差額</b>	<b>417,000</b>	<b>400,000</b>	<b>17,000</b>	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
<b>財務活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
2. 財務活動支出				
<b>財務活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>財務活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

\* 当会の予算案は、前年度の決算前に立案されている。予算案の前期繰越収支差額は、前々年度の決算額に前年度予算の当期収支差額を加えたものとする。

\* 但し、この事業計画書は「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日が2013年1月1日以前に完了しなかった場合に有効となる。

## 〔5～9号議案省略〕

## 〔10号議案〕

公益社団法人 日本天文学会 2012 年度  
役員候補者

敬称略

## 1) 理事 (任期: 2012 年度決算終了まで)

会長: 桜井 隆

副会長: 奥村(川邊)幸子, 山田 亨

庶務理事: 中村文隆, 本原顕太郎

会計理事: 熊谷(藤井)紫麻見, 松尾 宏

PASJ 理事: 茂山俊和

月報理事: 青木和光

年会実行理事: 宮田隆志

天文教育理事: 山岡 均

年会開催地理事: 田代 信 (埼玉大),  
山田 亨 (兼任, 東北大),  
石丸友里 (ICU),  
滝沢元和 (山形大),  
林田 清 (大阪大)

## 2) 監事 (任期: 2014 年度決算終了まで)

尾中 敬, 郷田直輝

但し, 現在の, 特例社団法人日本天文学会の理事及び監事は公益社団法人登記の日をもって辞任する。

## 【日本天文学会総会議事録】

日時: 2012年11月26日(月) 17:00-17:40

場所: 国立天文台解析研究棟大セミナー室

## I. 出席者確認

出席者の確認の結果, 事前投票総数(会場参加者との重複は除く)が577名, 会場参加者は15名だった。なお, 会場参加者のうちで事前投票したものは, 事前投票を無効とした。有効出席者総数は592名で, 定足数(正会員総数1,769名の1/5=354名)を満たしていることを確認した。

## II. 議長及び署名人

議長は規約に則り岡村理事長が務めた。次に, 署名人として桜井 隆, 松尾 宏の両氏が選出された。

## III. 報告

## 1. 臨時総会開催経緯について

杉山副理事長より, 臨時総会開催に至った経緯が説明された。

秋の定期総会後に, 公益法人移行時の年度は12ヶ月以内にしないといけないことが明らかになったため, 当初15ヶ月で想定していた2013年度を2つに分割し, 新法人移行時より2013年3月31日までを公益法人2012年度, 2013年4月1日より2014年3月31日までを公益法人2013年度とすることとした。

また, 2012年中に公益法人認定が下りなかった場合のため, 2013年1月1日より公益法人発足前日まで用いることを想定した特例法人としての事業計画と予算を別途用意することとした。

さらに, 当初公益法人移行後に予定していた新理事会の発足を, 移行と同時にすることとし, その理事会メンバーの承認も本総会で行う。また, これに伴う定款の変更を含め, 各種細則の修正も行う。

## IV. 議事

1. 第1号議案: 本原庶務理事が資料1に基づき, 公益社団法人日本天文学会2012年度事業計画書(案)の説明を行った。採決の結果, 賛成多数で承認された。
2. 第2号議案: 松尾会計理事が資料2に基づき, 公益社団法人2012年度予算書(案)の説明を行った。賛助会員, 団体会員の会費については免除される。採決の結果, 賛成多数で承認された。
3. 第3号議案: 本原庶務理事が資料3に基づき, 特例社団法人日本天文学会2013年度事業計画書(案)の説明を行った。採決の結果, 賛成多数で承認された。
4. 第4号議案: 松尾会計理事が資料4に基づき, 特例社団法人2013年度予算書(案)の説明を行った。採決の結果, 賛成多数で承認された。
5. 第5号議案: 杉山副理事長が『公益社団法人日本天文学会定款』の修正案を資料5, 11に基づいて説明した。採決の結果, 賛成多数で承認された。
6. 第6号議案: 本原庶務理事が資料6, 12に基づき『会費に関する細則』の修正案を説明した。採決の結果, 賛成多数で承認された。
7. 第7号議案: 本原庶務理事が資料7, 12に基づき『代議員選挙施行細則』の修正案を説明した。採決の結果, 賛成多数で承認された。
8. 第8号議案: 本原庶務理事が資料8, 12に基づき『会長・副会長・理事・監事選考細則』の修正案を説明した。採決の結果, 賛成多数で承認された。
9. 第9号議案: 本原庶務理事が資料9, 12に基づき『日本天文学会委員会等に関する細則』の修正案

を説明した。採決の結果、賛成多数で承認された。

10. 第10号議案：本原庶務理事が資料10に基づき新理事会の理事・監事候補者を紹介した。採決の結果、賛成多数で承認された。

[資料リスト]

- 資料1 公益社団法人日本天文学会2012年度事業計画書(案)  
資料2 公益社団法人2012年度予算書(案)  
資料3 特例社団法人日本天文学会2013年度事業計画書(案)  
資料4 特例社団法人2013年度予算書(案)  
資料5 公益社団法人日本天文学会定款  
資料6 会費に関する細則  
資料7 代議員選挙施行細則  
資料8 会長・副会長・理事・監事選考細則  
資料9 日本天文学会委員会等に関する細則  
資料10 公益社団法人日本天文学会2012年度役員候補者  
資料11 社団法人日本天文学会新定款修正箇所  
資料12 細則の主な変更点  
2012年11月26日

議長：岡村 定矩 印  
署名人：櫻井 隆 印  
署名人：松尾 宏 印

その他

TMT 第一期寄付金募集中!

国立天文台TMT推進室では皆様からの計画への寄付金を募集しています。平成25年3月末までにご寄付いただいた方のお名前を、ハワイ観測所山麓施設ロビーにて「TMT第一期寄付者銘板」として掲示致します。TMTが完成した暁にはTMT観測所での掲示も企画しています。TMT建設を含む計画推進の貢献者として是非みなさんのお名前や会社名を後世に残してみませんか。

寄付は法人様の場合は一口10,000円（法人様の場合5口以上から）で、個人様の場合一口1,000円からとなっており、国立天文台天文学振興募金を通じて行うことができます。ご入金を確認できましたら、領収書・礼状（国立天文台特製クリアフォルダ付）が届きます。

寄付申込みの流れ

【STEP 1. 寄付申込書のお取り寄せ】

以下のいずれかの方法で、寄付申込書をお取り寄せください。

- (a) インターネット  
TMT推進室ホームページ内「TMT計画への寄付について」のページ<http://tmt.mtk.nao.ac.jp/donation-j.html>から申し込み用紙をダウンロードしてください。
- (b) E-mail または FAX  
氏名・住所・連絡先電話番号をご記入のうえ天文学振興募金（E-mail: [naojbokin@nao.ac.jp](mailto:naojbokin@nao.ac.jp) または FAX: 0422-34-3903）へ送信してください。
- (c) 電話  
天文学振興募金窓口0422-34-3903へお電話ください。

【STEP 2. 寄付申込書に必要な事項を記入し、原本を郵便等にて返送】

TMT推進室ホームページ内のダウンロード以外から寄付申込書を入手された場合は「寄付の目的」の①に丸を付け、「使用者名又は組織名」の欄に「TMT推進室」と記入してください。  
送付先はこちら

〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
大学共同利用機関法人 自然科学研究機構  
国立天文台 募金事務局

【STEP 3. 郵送された振込用紙を使って最寄りの金融機関からお振込み】

振込手数料は自然科学研究機構で負担致します。「振込手数料込み」として、ご寄付いただく金額を金融機関にお支払ください。

国立天文台TMT推進室では、TMT計画実現の原動力である、皆様からの多くの応援と励ましをお待ちしております。皆様から頂きました寄付金はTMT計画推進のために使われます。

TMT寄付金募集に関するお問い合わせ

国立天文台TMT推進室  
Tel: 0422-34-3524  
e-mail: [tmtj@jelt.mtk.nao.ac.jp](mailto:tmtj@jelt.mtk.nao.ac.jp)  
<http://tmt.mtk.nao.ac.jp/donation-j.html>

寄付金窓口  
国立天文台天文学振興募金  
Tel: 0422-34-3903  
<http://www.nao.ac.jp/bokin/index.html>  
e-mail: [naojbokin@nao.ac.jp](mailto:naojbokin@nao.ac.jp)

## 第54回科学技術映像祭の参加作品の募集

募集締切：2013年1月25日(金)

参加方法：科学技術映像祭公式ホームページより申込

入選発表：2013年3月中旬予定

表彰式：2013年4月19日(金) 予定

表彰式会場：当館サイエンスホール

主催：(公財)日本科学技術振興財団, (公社)映像文化製作者連盟, (公財)つくば科学万博記念財団

参加申込方法など、詳細はこちらをご覧ください。 <http://ppd.jsf.or.jp/filmfest/>

## 2012年ご寄付者名

2012年に日本天文学会へご寄付をいただいた方々です。深く感謝申し上げます。(敬称略/受付順)

海野和三郎, 辻 隆, 佐藤明達, 松永典之,  
佐藤修二, 相馬 充, 塚田 健, 北村正利,  
伊藤洋一, 浜野和弘巳, 浜野和博子, 縣 秀彦

### 編集委員会より

## 退任挨拶

前任の兄玉さんから途中で受け継いで2年半、いろいろなことがありましたが、ここまでやってこれたのは優秀な編集委員のみなさんのご協力があったからこそです。まず最初に委員のみなさんに感謝したいと思います。東に誰かが論文を書いたと聞けば、甘い言葉で原稿を依頼し、西にメ切を過ぎても投稿してこない著者がいると聞けば、冷徹かつ執拗に原稿催促を続ける編集委員のみなさんと仕事ができて楽しかったです。4コマ漫画掲載、袋どじ、おまけつき、など奇抜な企画、アイデアはあったのですが、諸事情により断念したのが少し心残りです。その一方で編集作業に関わることによって、いろんな分野の最先端の動向を知り、天文学を面白く伝えることの喜びにも気づかされた5年間でした。ご愛読ありがとうございました。さらに編集委員会はパワーアップすると思いますので、これまで以上に天文月報をよろしく願いいたします。

柏川伸成 (国立天文台光赤外研究部)

編集委員として2期4年勤めてきましたが、編集作業を通して分かりやすい文章の書き方を学んだり、多くの方と知り合えたりと天文月報に貢献したことより私が得た事の方が多いように思われます。編集委員をしている間は届きたての原稿をいち早く拝見する楽しみがありましたが、これからは一読者として毎月月報が届くのを楽しみに待つこととします。最後にこの場をお借りして原稿執筆依頼に応じていただいた多くの方に感謝します。

浜名 崇 (国立天文台理論研究部)

編集委員に就任した時から思い起こすと、4歳老けて、所属先も変わりました。そう思うと長かったはずなのですが、正直なところ短かった! 毎月1回のテレビ会議がBGMのようになっていましたが、来月からもう無いと思うといくばくか寂しさを感じます。「私の見た日本シリーズ」の訳など、苦勞の多かった仕事もたくさんありましたが、良い思い出です。どうもありがとうございました。

鈴木 建 (名古屋大学大学院理学研究科  
素粒子宇宙物理学専攻 TA研)

大雪に見舞われて初回の会議を欠席することになってから、あっという間の4年間でした。読者の皆様にご満足いただけるような内容にできましたかどうか甚だ不安ではありますが、原稿の校正の際に幅広い分野の記事をじっくり読んだことは個人的にたいへんよい経験になったと思っております。これからは一読者に戻って、楽しませていただきます。

徂徠和夫 (北海道大学大学院理学研究院)

至らない編集委員でしたが、4年間お世話になりました。編集委員として様々な記事の校正を行うことで、普段は流し読みをしていた他分野の記事もじっくり読むようになりました。そして、他分野の方にも読みやすい記事になるように、著者の皆様や編集委員が相当努力していることを実感しました。私の任期中は、ちょうど「すざく」衛星が活躍していたため、X線天文学の多くの記事を紹介できました。今後も多くの記事の推薦、寄稿を続けていきたいと思います。

竹井 洋 (ISAS/JAXA)

前任の方が当時の私の居室に来られ、突然委員を頼まれたのが4年ほど前、私が長年携わってきた月周回衛星「かがや」の運用がほぼ終わりに近づきつつあった時だったと記憶しています。自分の研究範囲が天文学からは少し離れた位置にあるということもありまし



